

# ぬま健司の提言詳報（第19号）

## 田辺市長との一般質問の全記録

未来の声聞こえていますか～地球と市民を守る10年に～  
市民の声聞こえていますか～市民参画のルール確立を～



写真は一般質問で答弁する田辺一城市長と質問する奴間健司（3月23日）

## 目次

- 一般質問・一問一答（2021年3月23日）・・・・・・・・・・・・・・・・ p1～p15
- 3月補正予算の概要、2021年度当初予算の特徴・・・・・・・・ p16
- 施政方針の課題、薬王寺温泉施設関連・収支見込・・・・・・・・ p17
- 一般会計当初予算に対する討論概要、議会基本条例改正可決・・・・・・・・ p18
- 臨時会補正概要（4月20日）、政策推進会議研修会  
第5次総合計画基本構想策定の課題、6月定例会一般質問通告・・・・・・・・ p19

2021年6月18日  
福岡県古賀市議会議員 奴間 健司





○奴間健司 皆さん、おはようございます。会派・友和の奴間健司です。何年ぶりの朝一番の登壇です。わが家のモットーは、「朝からけんかはしない、機嫌よく」で

す。一般質問も爽やかにやりたいと思います。

昨日、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が全面解除されました。しかし、まだ収束したわけがありません。引き続き感染予防対策を徹底することを呼びかけます。また、治療やワクチン接種等に従事されている医療関係者の皆さん、接種体制準備に当たっている職員の皆さんに心から感謝します。

今回の最初の質問は、「未来の声聞こえていますか～地球と市民を守る10年に～」です。

1、2030年は地球と人類の生存にとって分岐点となると科学者が警鐘を鳴らしています。市長はどう受け止めていますか。10年後のめざす姿をどう描きますか。

2、気候、食と水、環境の三つの危機を回避するためには、2030年までの10年間の選択にかかっている。とりわけ前半の数年間が重要だという指摘があります。市長はどう行動すべきだと思いますか。

3、第5次総合計画はちょうどその10年間と重なります。地球と市民を守るという大きな使命があると思いますがいかがですか。そのために市民と行政の行動指針となるような計画にすべきと思いますがいかがですか。

二つ目の質問は、「市民の声聞こえていますか～市民参画のルール確立を～」です。

1、2030年に向かうまちづくりには、市民力が必要不可欠だと思います。しかし、その大前提として市民の市政に対する評価、満足度を把握できているか少し不安があります。どう認識していますか。

2、具体的な提案があります。市が行う施策に対する市民評価アンケートと職員自身で毎年度実施

し、その結果を市政運営に反映する提案です。取り組んでみませんか。

3、声を聞くだけではなく、市民が対話を通じて目標を共有、合意形成し、まちづくりに参画することが肝要です。そのためには市民ワークショップが必要不可欠です。ワークショップの実施をまちづくり基本条例に位置づけませんか。

以上、市長の答弁を求めます。



○田辺一城市長 奴間議員の1件目の御質問、「未来の声聞こえていますか～地球と市民を守る10年に～」についてお答えをいたします。

1点目についてお答えします。

2030年が地球と人類にとって分岐点になるという指摘があることについては認識をしております。10年後のめざす姿につきましては、現在取り組んでおります第5次総合計画の策定において、基本構想として定めることとしておりますが、持続可能な社会の構築をめざし、統合的に課題を解決していく視点が重要であると認識をしております。

2点目についてお答えします。持続可能な未来の構築に向けて、一人一人が何ができるかを考え、未来をよりよくするための具体的な行動として実践をしていくことが必要であると考えております。なお、第5次総合計画の策定において、今年度中に令和4年度から7年度を対象期間とするアクションプランを策定し、市としての取組を具体的に提示させていただくこととしております。

3点目についてお答えします。一地方自治体としての行動が地球規模の問題にも関連していることについては、常に意識し、様々な施策事業を展開しているところであり、特に基本構想については、市における総合的かつ計画的な行政運営を図るための指針になるという大きな使命があるものと認識をしております。基本構想を市民の皆様にしっかり

とお示しし、市民の皆様と共にまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

2点目の御質問、「市民の声聞こえていますか～市民参画のルール確立を～」についてお答えをいたします。

1点目と2点目について併せてお答えをいたします。市の施策満足度については、令和元年10月に実施しました、まちづくりに関する市民アンケートにおいて調査しており、第5次総合計画の策定作業に活用することとしております。また、これまでタウンミーティングや様々な現場において、市民の皆様から直接御意見や評価をいただいておりますし、市ホームページを通じていただくメールでの御意見や、SNSへの反応なども参考にさせていただいております。

第5次総合計画を策定した後、計画を実行していく段階において、市民の皆様への施策への関心度や満足度を適宜捉えていく必要性については認識をしており、現在、効果的な手法を検討しているところであります。

3点目についてお答えをいたします。まちづくりにおいて市民の皆さんは重要な担い手であり、まちづくりの基本的事項を定めた理念条例である古賀市まちづくり基本条例では、市が行う事業の企画、実施または評価等に対して、市民などが自主的に意見を述べ、または提案を行うなど、直接関与することを市民参画として定義し、また、市民参画の機会の確保やその環境の整備に努めることなどを定めております。

理念条例とは、行政や地域の基本的な考え方、姿勢や枠組みを提示したもので、具体的なルールを定めるものではないことから、本条例にはワークショップという具体的な言葉は出てきませんが、市民参画にはワークショップという手法も含まれていると考えており、これまでも健康チャレンジ10か条策定時の100人ワークショップ、まちづくり基本条例策定におけるワークショップ、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定における子育て世代ワークショップ、生物多様性古賀戦略策定における「ぐりめぐりん古賀」との共働ワークショップなどを実

践してきております。今後とも、こうした手法は大事にしたいと考えております。

### 人と地球にやさしいマイボトルの普及を



○奴間健司 再質問の冒頭に、市長に見てもらいたいものがあります。マイボトルです。この中身はルイボスというハーブティーが入ってしまし、心と体の癒やしに大変重宝しています。市長はマイボトルを使っていますか。

○田辺一城市長 使っておりますし、本日も持参し、私はホットコーヒーが入っています。

○奴間健司 大変よかったです。マイボトルの効果ですが、水分補給、夏場の熱中症予防に役立ちます。私が体験した最も大きな変化は、ペットボトル入りのお茶や飲料水をほとんど買わなくなったということです。まさに人と地球に優しい取組であり、誰もができる取組です。環境課の職員は皆さんすでにマイボトルと聞いておりますし、議員の中でもだんだん広がっています。あくまで自主的な取組ですが、けど、市民の皆さんに広くマイボトルの使用を呼びかけたらどうかと思っておりますがいかがでしょうか。

○田辺一城市長 実際、マイボトルを持つようになりましたら、本当にペットボトルの使用頻度が減るという実感は私自身も持っています。こうしたことが持続可能社会形成に向けて有効であるという視点から、市民の皆様にも、もちろん強制はできませんが、非常にいい手段ですよということは、何らかの手法でお伝えしていきたいと思っております。

○奴間健司 今日のテーマは、「未来の声聞こえていますか」ということです。聞こえたら、ともかくできることを即行動というのが趣旨で、こんなことを最初にお聞きしました。

### NHKスペシャル「2030 未来の分岐点」の感想

2030年問題ですが、「NHKスペシャル2030 未来の分岐点」という番組が3回にわたって放送されま

した。1回目は1月9日、テーマは「暴走する温暖化、脱炭素への挑戦」、2回目は2月7日、テーマは「飽食の悪夢～水・食糧クライシス～」、3回目は2月28日、テーマは「プラスチック汚染の脅威、大量消費社会の限界」。この場をお借りして、多くの市民の皆さんにこの録画を見てほしいと呼びかけます。市長も多分、視聴されていると思いますが、感想をお聞かせいただけませんか。

○田辺一城市長 リアルタイムでは3回目を見まして、録画については何とか時間をつくって1回目は見えています。2回目のほうは、議員もいろいろ御報告されていますし、直接見れていませんが、内容の趣旨は把握しています。

この番組ですね、非常によくできているなど思っています。市民、国民、視聴者に対して、自らの行動につなげるべきだよというメッセージ性が非常に強く伝わってくる構成になっていると思っております。危機感が、その意味で強調されている面はありますけれども、NHKスペシャルの中でもいい番組ではないかなと思って拝見をしました。

○奴間健司 2030年が分岐点ということについて、「認識している」という答弁だったと思います。どのように認識しているかをお聞きしていきたい。

番組の中で私が非常に印象に残ったのは、国連のグテーレス事務総長が「地球は破壊されている。人類は自然に対し戦争を仕掛けている。自殺行為だ」と述べていました。地球が二酸化炭素を吸収する力を失い、人類の未来を左右する決定的な10年に入ったという認識だったと思います。この発言を市長はどんなふうを受け止めるでしょうか。

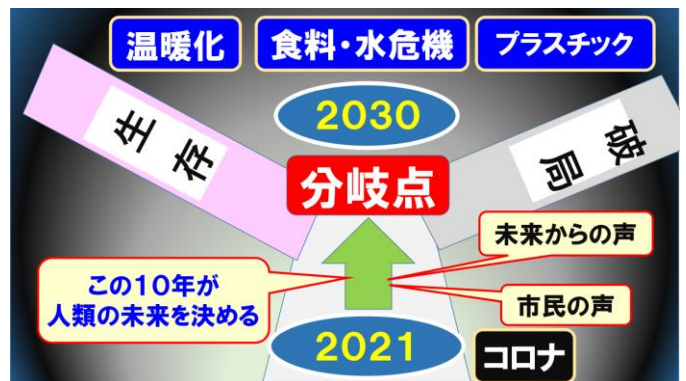
○田辺一城市長 いや、あの国連事務総長の発言というのは、本当に危機感を伝える言葉になっているなど思いました。特に国連の役割として、一国の政府の立場ではなく、全世界に共通の理念と目標を提示していくという役割がありますので、こうした強い文言を使っただけのメッセージになっていると受け止めました。

○奴間健司 このままでは2030年には気温が1.5度上昇し、ホットアース理論によって地球は限界を迎え、暴走を始める。シベリアの永久凍土が解けて

メタンが爆発的に噴き出し、未知のウイルスも出現する。2100年には4度上昇の可能性もあり、日本各地の最高気温は40度を超す。降水量が30%増え、東京の荒川堤防が決壊し、秋葉原のビルの1階が浸水するなど、もう都市機能が麻痺する。まさに暗黒の未来予想でした。ただ、これは決して大げさな予測ではない。九州、私たちの地域でも無縁ではないと聞きましたが市長はいかがでしょう。

○田辺一城市長 たしか番組の、暗黒の未来予想とおっしゃっていたその未来の地点は2100年だったと記憶しています、設定上はですね。計算しましたが、私、120歳なんですよ。この議場にいる人は多分、もう誰もいない状況にはなっていると思います。とにかくディストピアを明確に描くことによって、私たちに行動変容を促すということなんだと受け止めています。大事なことは、このままだとそのディストピアの世界が現出する。視聴している我々は誰もいないんだが、私たちが次の世代に向けてそうした世界を創出する原因の人類であっていいのかということをお伝えしていると思います。私自身も、当然もともとそういった意識は持っていますが、その認識をさらに新たにしたいところです。

○奴間健司 画面をお願いします。



この画面は、番組で紹介されたものをアレンジしたものです。地球温暖化や食糧・水危機、プラスチックごみなど、深刻な問題が山積みです。この10年間の選択の結果次第で「生存の道」と「破局の道」に分かれる。2030年が分岐点ということです。2030年は私もまだ間違いなくいると思います。その先が、市長が今言った2100年という話です。

これをきっかけに、世界が動き始めたという一つの希望の光を番組は紹介していました。

EUはグリーンディールを掲げ、2030年までに120兆円を投資する計画。それは2030年に二酸化炭素半減、2050年に実質ゼロをめざすからであります。アメリカでも、バイデン大統領が気候変動問題を重視しパリ協定に復帰しました。菅内閣も2050年、温室効果ガス実質ゼロを宣言いたしました。また、地方自治体でもゼロカーボンシティ宣言という新しい取組が広がっています。

こうした世界や政府、地方自治体の動きを受けて、市長はどう行動しようと思っっていますか。

○田辺一城市長 番組でもその希望の光として紹介をされていましたが、この番組が作られる動機づけもそうですし、世界全体の動きの大きな発端となったのは、グレタ・トゥーンベリさんに象徴される次の世代のいろいろ大きな危機感が行動として現出したということ。今の世界的な具体的な動きにつながっているんだろうと考えています。

そうした各国政府、こういった動きは特に欧州、米国は敏感に反応をしますから、非常に前向きな動きになっていると思います。国内においても、菅内閣が2050年までにカーボンニュートラルの実現に向けてということで、大きな国家方針を出した。これまでの内閣とは異なる姿勢ですから、私はこれをしっかり地方自治体として、当然受け止める必要があると考えております。

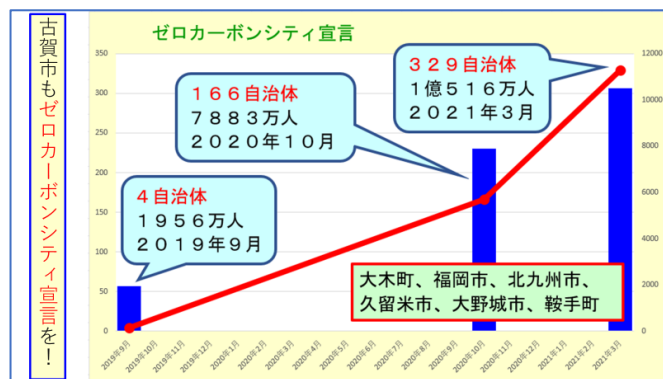
本市としましては、この動きにしっかり呼応していくということはもちろんです。我々としても、もっともっと強い問題意識を持って、こうした環境政策に取り組んできていますので、引き続きこれらの取組をベースとして、強化すべきところを強化する。ゼロカーボンシティ宣言等の動きについても、前向きに取り組んでいくべきと考えています。

### ゼロカーボンシティ 2021年度には方向性示す

○奴間健司 ゼロカーボンシティ宣言とは、地方自治体レベルで2050年までにCO<sub>2</sub>を実質ゼロにしようという動きです。

画面をお願いします。

この画面は、宣言自治体の推移を表しています。2019年9月には4自治体だったものが、つい先日、3月18日時点では329自治体、人口でいうと1億



人を突破しています。福岡県では、大木町、福岡市、北九州市、久留米市、大野城市、鞍手町の6自治体です。市長は、先日の同僚議員の一般質問の中で、どういう取組をするか盛り込み、できるだけ早い時期に宣言すると答弁しました。いつ頃に宣言するお考えなのかお聞きしたいと思います。

○田辺一城市長 このゼロカーボンシティ、今、議員がお示しいただきましたように、多くの自治体に広がっているところです。自治体数としては329自治体ですが大きな自治体が含まれているので人口カバー率が1億人を超えているということです。

私どもとしましては、ゼロカーボンシティについて、やはり宣言をしていくことが肝要であろうという前提の下に、環境課中心に今年度も検討を進めてきて、先ほどの答弁につながっているところです。

先般も答弁したんですが、作文して宣言するのは簡単なんですよね。そうではなくて具体的な自治体としての行動ということにつながる必要性が我々あると思っっています、今最終的な検討を、最終的じゃないな、詰めてですね、どういう取組が妥当かというのを検討しているところです。ここで何をやるということまでは答弁しにくいんですが、ただ、少なくとも温室効果ガスの削減だったり、再生可能エネルギー導入の可能性だったりですね、そうした視点をしっかりと持って、我々行政としての行動につなげていきたい。

そして、時期は、今こういう議論と発言をさせていただいていますので、できるだけですね、次年度(2021年度)にはそういった方向性をしっかりお示ししてですね、取組に向けたスタートを切りたいというようなイメージは持っています。

○奴間健司 宣言した自治体の取組を調べてみま

した。公共交通に電気自動車を導入する。なるほど  
と思いました。家庭における買取りが低くなって困  
っている太陽光発電を買い取り、公共施設で使う。  
各家庭の太陽光をも発電所とみなすという考え方。

古賀市では、小野小、花見小では既に太陽光と蓄  
電池が設置されており、これを広げたらどうですか  
というのは既に提案したとおりです。今から考える  
というよりは、やれることは幾らでもあるんじゃない  
かと思うんですが、どうですか。

○田辺一城市長 いろいろ考え得るのは議員おっ  
しゃるとおりです。だから、そのいろいろ考え得る  
中でも、まずこうしたところをしっかりと取り組んで  
いくというところをやっぱり打ち出していく必要  
が私はあると思います。どういったことができるか  
検討していますが、最終的にこうした取組を進める  
とともに、それによって持続可能な社会をつくら  
せていくために、ゼロカーボンシティを宣言しますと  
いった立てつけを、しっかり様々な選択肢の中から  
つくっていききたいなと思います。

○奴間健司 これは環境課だけではなくて、市を挙  
げて取り組むテーマだと私は認識しています。専門  
的に、集中的に検討するチームを立ち上げ、それこ  
そ市長の特命事項、薬王寺も特命事項ですが、これ  
こそ特命事項として取り組んだらどうかと思うん  
ですが、いかがですか。

○田辺一城市長 特命があんまり増えてもですね、  
大変なことでありますから、非常に大事なテーマで  
あるというのは議員おっしゃるとおりだと思います。  
本市としては、やはりこの環境に係る取組につ  
いては、全庁的にしっかりと意識をしましょうとい  
う土台はつくってきているつもりでもあります。

また、SDGsの視点をあらゆる市政運営の現場  
で意識をしていこうということは、私も施政方針や  
予算編成に当たっての市長メッセージでも伝えて  
きております。その心は、しっかり持続可能な地域  
社会を巨視的な視点からも考えてやっていきましょ  
うという含意がありますので、前提としての意識  
は庁内で共有できるものと考えております。

○奴間健司 時期の問題は、2021年度、令和3年度  
中に宣言する方向ということで受け止めてよろし

いですか。

○田辺一城市長 何事も様々な要因が生じること  
がありますので。ただ、私としては、先ほどの答弁  
で次年度をめざして頑張りたいという趣旨をお伝  
えしたつもりです。

### 「エコふあみ」アプリの普及拡大を

○奴間健司 もう一つ、具体的行動として、これは  
福岡県の強みでもあります、「エコふあみ応援ア  
プリ」というのがあります。

画面をお願いします。



これはアプリのトップ画面で、右側に、「毎日エコ  
チェック」というのがあります。毎朝チェックする  
のですが、例えば運転時は無駄なアイドリングをし  
ないなど5項目ぐらいあります。そのたびポイント  
がたまります。「うちエコ診断」を受ければ50ポ  
イントたまり、200ポイントを超すと豪華景品が当  
たります。



これは非常に特徴的ですが、ガソリン、電気、灯  
油などの使用量を入力するとグラフになります。赤  
い折れ線グラフがわが家のCO2の排出量です。1  
月はかなり九州平均よりオーバー、2月は平均並み、  
今月は途中ですが、かなり平均以下になりそうです。

こんなことが簡単にできる。

これは福岡から九州全域に4月から広がるそうです。環境省もインターネットによるエコ診断を始めると聞いております。もともとはドイツの国民がこれを既に使っていました。

こういったアプリの利用者を普及拡大すること、増加傾向にある家庭でのCO<sub>2</sub>排出量削減に役立つもので、ぜひ活用してみたらいかがですか。

○田辺一城市長 このエコふぁみ、私もスマホに入れていますけれども、立ち上げただけで1ポイントもらえたりですね、インセンティブでとてもいいと思います。今御紹介いただいたように、簡単簡便に自らの行動について理解することができますので、ぜひ多くの市民の皆様にご活用いただきたいというふうに思っています。

というのがありますので、実はこのコロナ禍における古賀エール飯のときも、環境課も連携して、古賀エコエール飯でこのエコふぁみのシステムと連動して取組をやったという経験もあります。市民の皆様には関心を持ってもらって活用していただけるように、我々もお知らせしていきたいと思っております。

○奴間健司 一つ課題があります。果たして何人の市民が利用しているのか、実際エコ記録をやっているのか、その結果CO<sub>2</sub>の排出量がどう変わったのか、これが把握できるのかということです。これは福岡県が先進なので、県と協議し、古賀市として活用する場合、エビデンスとして、それが把握できるような仕組みを示してもらいたい。ぜひ協議していただきたいのですが、いかがでしょうか。

○田辺一城市長 今できること、できないことの整理も必要ですけれども、県に対してはそうした議会からの御提起もあるということも含めて、よりよい活用の仕方、施策等につなげるための手法というのが考えられないか伝えていきたいと思っております。

○奴間健司 結果は後日聞かせていただきたいと思っております。

### 若者が社会を変える、世界を変える

さて、2030年を考えると、実は若者にとっては、自分たちのまさに生きる時代の話です。NHKスペシャルの番組も、女子大生がスマホを持って未

来から来るメールを見て現実を知るというシナリオでした。

EUのグリーンディール、あるいはバイデン大統領の脱炭素、こういったものを促したのも、実は若者たちの行動だったと言われております。さっきのグレタ少女もそうです。若者たちは政治家に「私たちの未来を奪わないでください」と訴えています。若者たちが力を発揮できるよう、環境を整備する、働きかける仕組みをつくる。これが私たち大人、特に政治に関わる者の大きな責務だと思いますが、市長どうでしょうか。

○田辺一城市長 どうしても、その若者と社会制度だったり、それをつくっている政治だったり行政というのは、縁が人生を重ねた者よりは遠くなってしまおうというのが、これは今に限らずどの時代においてもそうなんだろうと思っております。ですから、逆に我々政治、行政のほうから若者のほうにアプローチをしていくという営みが私自身は必要だと考えておまして、政治家の一人としてそれには努めているところであります。

ちょっと質問の含意がつかみにくかった部分はありますが、若者がですね、声を上げやすいような社会環境を整えていくというためには、まずは先行世代が若者たちを軽んじることなく、子どもも含めてですけれどもね、一人の権利主体として後進世代の声をしっかりと聞いていくという姿勢を社会全体で示していくということは必要だと思います。

○奴間健司 3月24日の夜8時から、「エコフレ〜サミット」オンラインに参加します。これは福津市の大学生から案内がありました。「若者がSDGsアクションの旗振り役となり、互いのチャレンジを応援しながら発信共有し、共感と連帯を生み出していくことをめざします」と彼女は説明してくれました。若者のリーダーから学び、そして参加した若者たち自身が行動宣言を行うというんですね。頼もしい限りです。大人が働きかけるというよりは若者がどんどん今、働きかけをしてきていますので、市長も参加して応援してみませんか。

○田辺一城市長 そういう主体的、能動的な若者というのは勇気づけられます。ぜひどんどんそういう

のをやってほしいと思いますし、ちょっとそれに参加できるかというのは、また後ほど考えなきゃいけませんけれども、そうした行動を起こす若者たちというのは私もすごく好きですし、そういった若者たちとのコミュニケーションを図る機会というのは積極的につくっていきたくて考えて常日頃から行動しているものですので、いい動きだというふうには、まず思います。

ただ一方で、そうした若者たちばかりではないという現実を我々は捉えて、ですから、あえてアプローチもそうですし社会全体の雰囲気の醸成が重要であるという答弁をさせていただきました。

○奴間健司 若者たちの意見を聞きながら、古賀市がこれから将来ビジョン、第5次総合計画を打ち出しますけど、若者たちから魅力を感じられるものが必要だと思います。

#### 次期総合計画 Love Koga & Planet をベースに

前半の質問の最後ですが、第5次総合計画についてはいろいろ今、進んでいます、ベースとなる言葉は何なのか、ベースとなる理念は何なのかをちょっと考えてみました。私なりのアイデアですが、「Love Koga & Planet」、プラネットとは地球を指します。「市民と地球を守る10年」というフレーズなんですね。

市長は、ちょっと乱暴にまとめますが、企業誘致や開発を進めることが持続可能につながると強調しているように受け取られます。これは「量的拡大こそ成長の源」というこれまでの発想とどう違うのかなって感じています。大事なことは、経済と環境と社会の3側面の統合、SDGsを意識したメッセージを全面というかベースに持つておくことが必要。「Love Koga & Planet」、「市民と地球を守る10年」。市長、こういったものをベースにしたらどうかと思います。いかがでしょうか。

○田辺一城市長 ラブ古賀アンドプラネット、市民の皆さんの暮らしを守っていくには、そもそも地球環境がこの先どうなっていくかがとても大事だというメッセージを共有するということは意義あることだと思います。そうした視点が大事だということを我々自身も改めて持つておこうという意識を

私自身も今、持ちましたし、市民の皆様もそうした意識を持つてもらいたいというふうに思います。

#### 企業誘致に傾斜 環境も意識する（市長）

一方で、ちょっと言及いただきましたけれども、企業誘致であったり、開発行為が特にこの2年で具体的な推進に向けた着手を、私を先頭にさせていただいております。やっぱり自治体の長になって思いますのは、持続可能な地域社会を構築していく上で、まず経済ということ、働く場、雇用の場を創出して暮らすという地域にしていこうということが必要だという認識を、議員時代よりも強く持つようになりました。この経済というのをしっかりと持続可能な形で伸ばしていくということがあって、福祉だったり、私は従来から重視していますけれども、子どもだったり高齢者だったり障がい者だったり、福祉というのをしっかりと成り立たせることができる。

ただ、これだけではいけなくて、議員御指摘のようにSDGsの考え方、やっぱり環境ということこれまでそう強く意識してなかったんじゃないかなど、社会全体ではですね。ですから、その経済、社会、環境というところで統合して考えて、まちづくり、国家づくり、世界づくりをやっていく必要があるという考え方が大事になっていると思いますので、私はそういう基本認識に立っています。

ですから、企業誘致に傾斜はしています。絶対にこの町にとって必要なことだと思っていますので、開発行為等には極めて強い力を入れているというのは事実ではありますが、根本的には今、申し上げたような理念に基づいて市政運営はさせていただいているつもりです。

○奴間健司 「Love Koga & Planet」ということをベースにした場合の企業誘致の在り方とか、開発の在り方というのは、多分、新しいステージ、新しい発想が出てくると思うんですよ。私もそれを否定しているんじゃないんです。その観点を抜きに、ただ量的拡大が持続可能な源だ、成長の源だという発想はもう見直す時代、未来はそれは求めていないということを指摘したい。そこは通じていますか。

○田辺一城市長 今、企業もですね、古賀市に既に立地している企業の社長と私、話す機会もあります



し、新たな動きを既に行っている企業もいらっしゃいます。私も社長をはじめ経営陣の人と話をする中で、皆さんですね、やはりその持続可能性だったり、環境との調和だったり、そうしたことはかなり意識されていると思っています。企業ももちろんそういう意識を持っていますし、私どものまちづくりで企業誘致をするに当たっても、その観点は重要なものという前提で取組はさせていただいております。

**2030年 この場で状況を確認する覚悟は**

○奴間健司 いずれにしても、この結果は2030年にある程度確かめられます。私はそれまで歯を食いしばって頑張る覚悟を固めていますが、市長もこの場で、2030年の状況というのを一緒に確認する覚悟というのはいかがでしょうか。

○田辺一城市長 ちょっと私の立場の将来の在り方については、政治家として披瀝するのは難しいんですけれども、少なくとも市民の一人としては、皆様と共にまちづくりをずっとやっていく覚悟で生きておりますので、その観点から、奴間議員とも共に2030年、持続可能な地域社会づくりを私もやっているものと考えます。

○奴間健司 お互いに結果を確認できることを希望しておきたいと思います。

**市民の声を把握 市長の個人的努力ではなく**

二つ目のテーマに移ります。市民の声を聞いていますかという問いかけに対して、いろいろ答弁ありましたが、一言で市長はどう認識しているか。ポイントをお願いいたします。

○田辺一城市長 最初に申し上げると、聞けてない市民の声があるじゃないかという指摘は、あらゆる政治家が常に言われることなんだろうと思っていますという前提で、ただし、そうした聞けていないお声を少しでも限りなくゼロに近づけていく努力が必要だという認識で、この間、政治家として、また行政の長として、対話と交流というものを掲げて取組をさせていただいているつもりです。

その中でももちろん、今、コロナ禍でなかなか難しくなっているところはありますが、現に各自治会単位と校区単位で回らせていただいている対話集会もそうです。これで言うと、ここに出てこない人がい

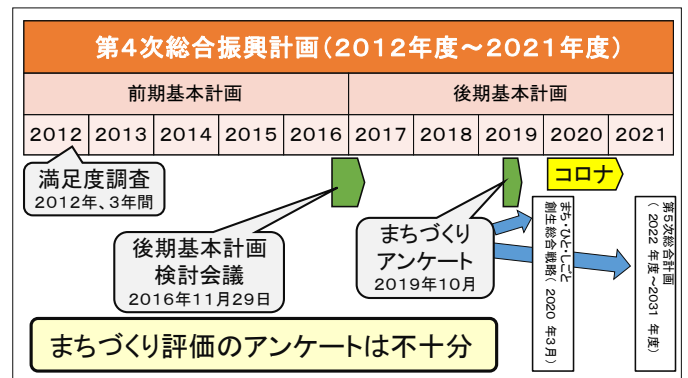
るじゃないかということがあるので、この間、約10年の政治活動の中でも地域のあらゆる行事だったり、家の前まで行ったり、そうした活動を不断にさせていただく。でも、これでもという声もあります。働く世代や若者ということについて、接点を持ちにくいならばSNS、あらゆるSNSを駆使させていただいております。

ということで、様々な手段を通じて双方向のコミュニケーションが可能になる環境をつくってきたという自負はあります。ただ、これが十分に機能しているかという指摘は常に付きまとうと思いますので、それを乗り越えるべく、不断に努力をしていくしかないと考えて取組をさせていただいているところです。

○奴間健司 私は十分か不十分かということを行っているのではなくて、基本的に把握する仕組みが古賀市は整っているのかということを指摘しています。

**過去10年間 市民アンケートは不十分**

画面をお願いします。



これは、大半市長は直接関わっていない期間ですが、第4次総合振興計画期間の状態まとめたものです。

2012年頃、職員のボトムアップ事業ですが、16事業について満足度調査が行われていました。ただし、これはすぐ終わってしまいました。

2016年11月末から、後期基本計画をつくるために検討会議があり、3回ほど会議やっていますが、広く市民の意見を聞くアンケートは行われていません。

先ほど市長が言った令和元年、2019年10月のアンケートは、実はまち・ひと・しごと創生総合戦略策定のためのアンケートであり、それを転用した格

好になっています。

2020年初頭からコロナを経験し、価値観の大きな変容がありました。新たなアンケートは行われていません。

こういう約10年間振り返ると、計画的に、あるいは持続的に市民の意識をつかもうという取組は十分ではなかったのではないかとというのが私の問題意識です。解決すべき課題があったと思いますが、いかがでしょうか。

○田辺一城市長 先ほど申し上げた考え方の一つとして、今、市民アンケートを議員、上げていただいておりますけれども、アンケートは当然、市民の皆様の意識を捉えていく上で有効な手法だと考えております。まち・ひと・しごと創生総合戦略策定と第5次総合計画策定に向けた市民アンケートをそうした意味でも実施をさせていただきました。

今後ですね、この総合計画、もちろんまちづくりの10年間長期計画の指針ですので、総合計画という枠組みに基づいて、何らかの手法で市民の皆様のいろんな取組への関心度とか満足度をはかっていくということは、最初の答弁で申し上げましたように、我々必要性を考えています。これまでの10年間も踏まえてですね、それはアンケートという手法なのかというのは最終的に詰めなければいけません。何らかの効果的な手法でそうした機会をつくっていくということは重要だと考えています。

○奴間健司 PDCAという言葉がありますけど、それを進めていく上で、系統的にアンケートをする活動は、私は必要じゃないかと思っています。

画面をお願いします。

| 〇市の「まちの姿アンケート」 |                                           |
|----------------|-------------------------------------------|
| ①              | 毎年度実施(5段階評価)                              |
| ②              | 5年に1回は満足度・重要度アンケート                        |
| ③              | 1月実施、3月結果公表、7月次年度新規事業反映                   |
| ④              | コミュニティごとの人口に着目した比例配分、16歳以上の市民、新規対象者と継続対象者 |
| ⑤              | 4つの基本政策。全ての大施策について質問                      |
| ⑥              | 職員で実施、結果はすべての課で共有                         |

必要性は認め検討しているということなので、それを促す意味で、これは福岡都市圏の〇市と言って

おきますが、まちの姿アンケートを紹介します。

6点特徴があります。一つ、毎年度実施。二つ、5年に1度は満足度と重要度のアンケートを実施。三つ目は、毎年度1月に実施し、3月にはその結果を公表、7月には次年度に向けた新規事業に反映。四点目は、対象ですけど16歳以上の市民、コミュニティの人口により比例配分し、継続対象者も必ず含む。五点目は、対象は総合計画の基本政策の全ての大施策が対象。六点目は、職員自身で実施し、結果を共有、予算も僅か数十万円。こういった特徴を持ったアンケートを毎年毎年続けている自治体です。これは、2017年12月議会でも提案しましたが、前市長は全く取り上げてくれませんでした。

この〇市の取組も一つの参考事例となると思いますがいかがでしょうか。

○田辺一城市長 申し上げましたように、効果的な手法を今、検討しているところでありますので、アンケートを取るという観点から、今事例として挙げていただいた〇市の手法というのは、我々が検討していく上で参考になる部分もあろうかというふうに思います。

一方で、このアンケートという手法で今提起いただいているので、あえてここだけでいくと、じゃあこれ紙でやるんかとかですね、やっぱりもう紙だったら正直、もう私たちのような働く世代とかより若い人たちは、もう届いたってやらない人も一定いるんじゃないかなという懸念があったりする中で、例えばデジタル化推進を図りますので、そうした観点を入れていくとか、仮にアンケートということだけで考えると、そうしたこともしっかり考えていくことで実効性を上げる必要があるのかなと今聞いていて思いましたが、参考になる部分はあろうかとは思っています。

○奴間健司 もう少し具体的に紹介します。

画面をお願いします。

これは特徴ですが、何を聞くかというのはちょっと細くなると恐縮ですが、地域づくりと自治体経営、子育てと教育、健康長寿と福祉、都市環境と安全都市、いわゆる総合計画の四つの基本政策に関わるいわゆる大施策を全て5点満点評価で聞いてい

| 政策03 健康長寿・福祉<br>施策項目 | めざそう値 | 2018 | 2019 | 当初比   |
|----------------------|-------|------|------|-------|
| ①こころとからだの健康づくり       | 3.16  | 3.01 | 3.04 | +0.03 |
| ②高齢者の生きがいづくり         | 3.28  | 3.03 | 3.03 | 0.00  |
| ③地域包括ケア・介護予防         | 3.29  | 3.04 | 3.03 | -0.01 |
| ④地域福祉                | 3.22  | 3.09 | 3.09 | 0.00  |
| ⑤障がい者(児)の社会参加        | 3.38  | 3.19 | 3.17 | -0.02 |
| ⑥生活保護と自立支援           | 3.16  | 3.16 | 3.14 | -0.02 |

ました。そして、これはその中で、例えば健康寿命延伸の評価はとなると、①のところですが、2018年度は評価の合計が3.01、2019年度は3.04、比較ではプラス0.03ということでプラス評価。あるいはゼロというところもあれば、マイナスというのも出ています。

こういった評価を丹念に持続することで、職員にとってはまず市民の評価を前提にPDCAを行う。そして、その結果を職員内部のものとして公表しているという点も学ぶ点です。ここまでやっているのです、デジタルでやるかどうかはちょっと別としてですね、基本的に何を市民に尋ねるかという点では参考になると思うので紹介いたしました。

いかがでしょうか、市長。

○田辺一城市長 アンケートという手法かどうかということも含んでですけども、やはり市の施策、取組について、具体的に市民の皆様の受け止めが短いスパンの中で捉えられるということについては、その施策等を担当している職員にとっては励みになったり、よりよい仕事をしていこうという動機づけになったり、具体的な改善の検討等にもつながっていくだろうというふうには思います。

○奴間健司 市長は度々ですね、総合計画と言っても市民にはぴんと来ない、だからタウンミーティングで直接説明して、その意識を醸成すると言っていました。しかし、私、そう簡単ではないなと思っております。今御紹介したような〇市のように、毎年毎年総合計画で市民に約束した施策について評価を聞かれば、市民サイドとしては、総合計画を自分の暮らしに引きつけて感じる機会が保障されると思います。こういった丹念な取組があつてこそ、総合計画を意識するのではないのでしょうか。

対話集会で総合計画の意義を伝えられるか

毎年市民に評価を聴くことが肝心ではないか

○田辺一城市長 あえてとんがった言葉でこの間も申し上げてはいますが、総合計画と言ってもですね、多くの市民の皆さんは、それは何ぞやということ意識できていないというのがこのまちの現状だということは、各地でタウンミーティングを開催してもですね、質問に入れていっていただけから、それはもうすごく実感を変えてしたところがあります。総合計画と言うから「何のことだい」という話になるので、まちづくりを全てをまとめている計画なんですよ。じゃあ「それ、まちづくりって何」って言ったら、皆さんの生活の個々別々いろんな課題があるでしょうと、通学路もそうだし、介護もそうだし、学校もそうだしという説明をタウンミーティングでさせていただいて、「なるほど。じゃあ、私の暮らしに直結する長期プランというのをつくっているんだね」という、この言葉での説明をこれまで尽くしてきました。当然参加しない方もたくさんいらっしゃるし、そういった意味では、より広範な市民の皆さんに総合計画への意識を結果として持ってもらうために、個別具体の施策というものが大事だという意識を持ってもらうということ、その営みには意義があると思います。

○奴間健司 総合計画は市民への約束と考えれば、ちゃんと守られたのかということをお互いにチェックすることが大事。ぜひ第5次の総合計画期間中はですね、何らかの系統的なアンケートを実施する方向で来年度検討していただきたい。約束していただきたいのですが、いかがでしょうか。

総合計画策定前にアンケート含め効果的手法検討

○田辺一城市長 総合計画ですね、もちろん行政としては今、議員御指摘いただいたように、市民の皆さんにこうしたまちづくりをしていきますよっていう約束の面はあると思いますが、やっぱり総合計画というのは、策定もそうですけれども、その後の運用についても、やっぱり市民の皆様と一緒に未来をつくっていくという視点も大事だと思っています。

だから、そうした意味において、じゃあ一緒につくっていくならば、そうした市民の皆さんの声とか

感性をどうやって我々が受け止める機会を創出するかということが課題になるという認識を持っていますので、何らかの計画実行段階においても効果的な手法を検討しているということで、本日も答弁をさせていただきました。

その効果的な手法を今後、少なくとも、もう来年度中にはこれもしっかり固めますから、しっかり計画を策定を当然終える前にですね、こういった効果的な手法があるかということは、今日議員が御提起いただいたアンケートという手法も含めてですね、今後、検討をしていきたいと思えます。

**ワークショップとタウンミーティングは別物**

○奴間健司 検討結果、また注目しておきます。

ワークショップに移ります。市長は2019年12月の私の一般質問で次のように答弁しました。「ワークショップでめざすものを対話集会の手法でめざすということがなされれば私はそれでよいと思う」。この考えに基づいて、市長はタウンミーティングにこだわったわけです。ここで改めてお尋ねしますが、市長がこだわったタウンミーティングで、ワークショップでめざすものが果たせたと思えますか。

○田辺一城市長 私の対話集会でもですね、市民の皆様視点だったりですね、問題意識だったりを上げていただく機会があったと認識しています。じゃあ、その解決策が具体に出てくるのかというところは、もちろん難しい面があるとは思いますが、一定ワークショップでめざすところの趣旨は取り入れられているのではないかと思います。

一方で、対話集会だけで、何事もこれだけという話じゃないと思います。先ほど幾つか例示をさせていただきましたけれども、これまでやってきている市民の皆様との個別具体の政策に係るワークショップの経験というのが既に我々のまちにはありますので、その経験を踏まえた形で総合計画策定に各セクションも及んでいますし、これまでのワークショップの知見というものも本総合計画に反映をされているものと認識をしています。

○奴間健司 画面をお願いします。

この画面は、2月19日の基本構想審議会に報告されたタウンミーティングの結果概要を表にまと

| タウンミーティングの結果概要                |                                                                                                                                        |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合計画                          | ●第4次計画の成果・進捗の検証 ●タウンミーティングの意見の反映                                                                                                       |
| 産業振興                          | ●企業誘致と既存企業の流出防止 ●農家の高齢化や耕作放棄地対策                                                                                                        |
| 地域資源・PR                       | ●自然・温泉、船原古墳、中村哲氏のPR                                                                                                                    |
| 西鉄跡地<br>古賀駅周辺開発<br>ウォーカーブルシティ | ●進捗状況、スケジュールを知りたい<br>●古賀駅東口開発、長期でプロジェクトであり財政負担が心配<br>●古賀駅西口が置いてきぼりにならないか心配                                                             |
| 地域コミュニティ                      | ●自治会加入率の低さ、脱退が心配<br>●消防団員も足りず自治会費で担っている。市で手を打ってほしい<br>●地域コミュニティ活動、高齢化もあって負担も大きく活動が停滞<br>●自治会と校区コミュニティのすみわけができていない                      |
| 都市基盤<br>公共交通<br>防災防犯・環境       | ●道路整備・補修・拡幅、該当・フェンス・横断歩道・標識等の整備・補修、<br>河川の浚渫工事、空き家対策をしてほしい ●防災無線が聞こえづらい<br>●買い物・通院等に利用するバス交通を充実させてほしい<br>●上下水道整備を進めてほしい ●海抜の低い地域の水害が不安 |
| その他                           | ●コロナウイルス感染やこれに伴う失業等に不安を感じる                                                                                                             |

めたものです。総合計画に関しては、第4次の検証結果を反映してほしいということが記載されていますが、あと大半、個別の要望の羅列です。もちろん要約したものでしょうが、「これだけなの?」というのが率直な感想でした。

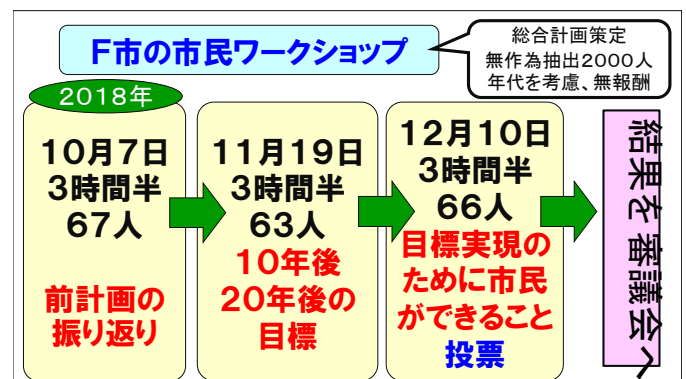
どういう将来像をめざしたいのか、そのために市民は何ができるのか、したいのか、こういった意見は残念ながら盛り込まれていません。ワークショップでめざすものは達成できなかったのではないかなというのが私の評価です。

そもそもタウンミーティングとワークショップは目的が違うということを理解することが必要だと思います。いかがでしょうか。

○田辺一城市長 完全に違うとは思いません。ただ、異なる面もあるとは思えます。そうした中で、今回のタウンミーティングは総合計画を策定していくに当たって、有効な市民の皆様の声の頂けたと認識をしています。

○奴間健司 参考に、近隣のF市と言っておきますが、取組を紹介します。

画面をお願いします。



F市では、総合計画策定に向けてワークショップを実施しました。無作為抽出の2,000人からメンバー約70人を選考。1回目は前計画の振り返り、2

回目は10年後、20年後の目標、3回目は目標実現のために市民ができることを話し合っています。その選択肢について、最後は参加者が投票によって決定しております。

このワークショップの結果は基本構想審議会に報告されています。市民が熟議し、一定の合意を得たワークショップの報告というのは、総合計画に生かされる内容を多く含んでいると感じました。古賀市のタウンミーティングの結果概要報告とは、そもそも大分違うと思いました。

このような形式は、確かに健康10か条とかで行われていましたが、総合計画という大きなビジョンづくりには、まさに必要な市民参画の手法だと思えます。いかがでしょうか。

### **市長 少数の人ではなく、総合計画を知らない多くの市民を対象とするタウンミーティングを優先**

○田辺一城市長 今回、総合計画の策定に当たって、市民の皆様と共に考えるという機会を創出することは重要だと考えて取組を始めております。この今、例を挙げていただいた総合計画策定の過程で、こうした手法でワークショップをすることの意義を別に私も否定するものでもないし、これはこれでこの町の在り方としてよいならよかったのだろうというふうに思います。

一方で、67人、63人、66人、いや、これはこれで意味のある手法ですが、私はそもそもある特定の少数の人たちが総合計画により強く関心を持ってほしいとか、そういうことではなくて、より多くの、だってそもそも知られてないんですから、この町が総合計画なるものを多くの皆様に知っていただくという土台が不足しているのではないかと思いますので、とにかく多くの地域で総合計画に係るタウンミーティングという手法を取らせていただいて、まずはまちづくりにはこの10年計画なるものがあるんだよと、その中で皆様の生活課題、何でございますかということを知るという手法を取らせていただいたということでもあります。

ですから、両手法についても、別にこっちがいい、こっちが悪いという議論は全くなじまないと思えますし、私どもは私どもの問題意識の下に今般タウ

ンミーティングという手法をもって、ワークショップでもめざしているところのものが対話集会でも図れるようにという意識を持って開いてきたということでもあります。

ほかのまちのですね、これはいい事例なんじゃないかということはもちろん謙虚に受け止めますけれども、本市の取組がよきものだねという声も一方で他市からいただくという現実もありますので、そうしたこういったやり取りの中で、それぞれよきものをまた次のこれからの取組につなげていくということが大事なのではないかと思えますので、こうした御提案は大切に受け止めさせていただきます。

### **基本構想審議会にワークショップの手法を**

○奴間健司 古賀市でもまだワークショップをやる余地はあると思えます。例えば、審議会にワークショップを取り入れたらどうでしょうか。ファシリテーター研修を受けた上下水道課の職員がその役割を発揮できると思えます。ワークショップの方が型どおりの審議よりも審議委員の優秀な皆さんの意見をもっともっといただけたらと思えます。審議会の運営の中にワークショップの手法を取り入れたらどうですか。市長、いかがでしょうか。

○田辺一城市長 議員御承知のように、総合計画策定もそうですし、様々な事業について、いろんな段取りをして、こういうふうに進めていくというのはおおむね固めて、今も進めさせていただいているところです。そうした中で、議員がワークショップによって、この総合計画、まちづくりに資する部分があるんじゃないかというところの含意はちゃんと受け止めますので、今後ワークショップなのかというところは非常に難しいところはあると思いますが、ワークショップで得られるものというものが今後の審議会等の中でしっかり我々もつかんで、総合計画施策に反映できるように努めていきたいと思えます。

### **古賀市には市民参画のルールがないのではないかと**

○奴間健司 こういう質問をしなくてはいけないのは、実は市民参画のルールが明確になっていないのではないかと私の問題意識からです。

画面をお願いします。

## 古賀市「まちづくり基本条例」

(基本構想)

第13条 市長は、総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、基本構想を策定する。

2 基本構想の策定に関し必要な事項については、**古賀市基本構想の策定に関する条例**に定めるとおりとする。

第3条 市長は、基本構想を定めるときは、**市民の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならない**

(行政計画)

第14条 行政は、行政計画の策定に当たっては、**市民参画の機会の充実に努める**。

古賀市のまちづくり基本条例では、市長は総合計画の基本構想を定めるときは、市民の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならないと規定しています。では、どういう具体的手続があるのでしょうか、お尋ねします。

○北村俊明まちづくり推進課長 まちづくり基本条例で想定しておりますのは、審議会での意見の反映であったり、それから市民説明会、それからパブリック・コメント、それからワークショップ、そういった様々な手法があると思います。それぞれ個別の施策の立案に対して適当なものを市のほうで選択していくということで考えております。

**牧之原市の市民参加の具体的ルール 条例で規定**

○奴間健司 参考に、静岡県牧之原市を紹介します。画面をお願いします。

## 牧之原市「自治基本条例」

(計画の策定等にかかる原則)

第15条 3 市長等は、総合計画その他の重要な計画の策定に当たっては、**市民の多様な参加を保障するものとする**。

### 牧之原市政への市民参加条例

具体的手続きを規定

①パブリックコメント

③意見交換会

④ワークショップ

②市民意識調査

⑤審議会等

牧之原市の自治基本条例では、総合計画や重要な計画策定に当たっては、市民の多様な参加を保障すると規定しています。じゃあ、多様な参加の保障は何なのかというのは、別に市民参加条例で、1、パブリックコメント、2、市民意識調査、3、意見交換会、4、ワークショップ、5、審議会等と定めているんですよ。特にワークショップについては、「ファシリテーターの進行により市民と市長、市民相互、あるいは多様な共同作業を行い、一定の方向性を合

意形成する会議」と、きちんと規定しています。ですから、聞かれたらどんな手段があるのかを相談するのではなく、これとこれですとルールを決めています。分かりやすいですね。だから、市長と私が不毛な論争をしないようにですね、ワークショップもすれば意見交換会もするという規定ですね。

その時々々の事情とか市長の問題意識で左右されない市民参画のルール確立が肝腎だと思いますがいかがでしょうか。

○田辺一城市長 私は不毛だとは思っていませんので、生産的になるべく私も意識はしますし、御提案は受け止めさせていただいておるんですが、ただ、やはりこの自治基本条例ですね、私が県議時代に市民の皆様が集まって今の形になっていったというこの過程はいいなと思って私も見ていましたし、今の自治基本条例の形、その理念を示すという意味では、非常によきものになっていると思います。

一方で、もう一個条例つくっているんですよ。今、議員が御提示いただいている牧之原市はですね。それが市民参加条例で、そこに理念ではなくて、さらに具体的に示すべきではないかという御提起ではあると思います。こうした条例を、牧之原市の条例も改めて我々も精査する必要はあると思いますが、その条例の必要性については、今日御提案いただいたところですので、我々も議会から、議員の方からの御提案として、受け止めさせてはまずいただきます。

一方で、この理念に基づいてですね、私どももそのワークショップを否定しているわけでも一切ないですし、もちろん対話集会なるタウンミーティングという手法も、確かに私が市長になったので、私の大きな公約の対話と交流にも関わってくるので、確かに私が市長であるから属人性も持って今回、総合計画の策定手法になったという事実はありますけれども、いろいろな手段によって多様な市民の皆様の声というのを受け取るんだという理念はそもそも持っているし、それは自治基本条例の中でもうたっているという認識ではおりますので、様々な手段を否定するものでありませんから、それ自体は今、議員が御指摘いただいているワークショップとい

うものも当然我々は既にまちづくりの様々な場面でやってきている事実もありますから、この市民参加条例で手続を規定する意味での条例の制定というところの意義があるのかとは思いますが、既に我々は同様の問題意識は持ってやっているというところは申し上げておきたいと思ひますし、今後市民参画をどう考えていくかという過渡期にあるんだと思ひますので、今日の議論というのは参考にしてやっていきたいと思ひます。

○奴間健司 実は、2019年12月、1年3か月前にこれ提案しています、全く同じ内容。市長、忙しいんですね。その後、手をつけられなかったんじゃないかと思ひます。ぜひ加速して検討していただきたいと思ひます。

### 職員の声は市長に届いているか

今日ですね、未来の声、市民の声というのをテーマ、キーワードにしたのですが、ふと思っただけですが、職員の声は市長に届いていますか、市政運営に生かされていますか。ちょっとお尋ねをしておきたいと思ひます。

○田辺一城市長 職員の声が私に届く仕組みは整っているものと認識しておりますし、個別具体的にその仕組みの下ではない形でも私の元に届くこともありますし、このコロナ禍の中でも様々な政策形成において、職員の声というのが直接反映されているものも多々あるというふうに認識しています。

一方で、またこれもゼロか100かみたいな話になりますけれども、じゃあ全ての職員の声を正確に私が把握できているかということ、まだなかなかそれは私自身も努力と精進が必要だと思ひますし、その仕組みというものが一層有機的に機能するようにやっていくということを不断の努力が必要だという認識を持って行政運営に当たっています。

### 総合計画基本構想骨子案 経営戦略課が作る？

○奴間健司 3日後の3月25日の午後6時から、多目的ホールで基本構想審議会が開催されます。そこで第5次総合計画の基本構想骨子案が提示されると聞いています。市長にお尋ねします。この骨子案の内容は、職員の皆さんは御存じでしょうか。骨子案作成に職員の意見は反映されていますか、いか

がでしょうか。

○大浦康志経営戦略課長 今お尋ねの骨子案についてはですね、次期の総合計画の基本構想をですね、こういう構成、アウトライン、こういう形でお作りしますということをお示しするものでございまして、そういう意味においてはですね、それは事務局のほうで原案を作成してございます。

骨子案ということでございますので、これは私も経営戦略課事務局で作成してございます。

○奴間健司 基本構想骨子案としてもですね、将来ビジョンに関わることです。これが担当事務局だけで進めているって、これ、まずいんじゃないですか、市長、どう思ひます。

○大浦康志経営戦略課長 この骨子案についてはですね、既に第5次総合計画の策定方針ということで、もうお示しをしている範囲でですね、作成をしているということでございます。

○田辺一城市長 骨子案を提示したかどうかというところだけ、今こちらに投げかけていただいていますけれども、そもそもこの骨子案策定過程においてですね、そもそも総合計画策定をするよということも、その策定の大方針も共有をして、それでボトムアップでこの各セクションの考え等も事務局が捉えて、現状とか課題とかいろいろ持っているものを捉えて、最終的に骨子案の形成に至っているというプロセスがありますので、何かが置いてけぼりにされているとは思わないところです。

○奴間健司 情報共有と議論は行われていますか、いかがでしょうか。

○大浦康志経営戦略課長 今の内容につきまして、総合計画の策定本部会議にお出ししてですね、協議をしながら進めてございます。

### 職員は2030年を考える余裕はあるか

○奴間健司 今日、2030年は分岐点ということで議論しましたが、職員の皆さん、これを考える余裕、体制はあるんでしょうか。目の前のことで忙殺されていませんか。市長、ここは何とかしないとまずいと思ひますが、どう思ひます。

○田辺一城市長 目の前の仕事を全力を尽くしてやるのは当然ですので、それをまず頑張るとい

とと、じゃあ、今のうちの古賀市の職員が、じゃあ、それだけのことしかできない状況になっているかという、この総合計画策定過程においても、じゃあ未来像研究スタッフ、若手の職員で部署関係なく集ってもらって、政策、自分の仕事と今直接関わりや所管してないけれども、町全体を考えて政策提案をするという営みもこの総合計画策定過程でやってきておりますし、総合計画は全てのまちづくりに関わってきますが、例えば先般も、じゃあ古賀駅の東口のこれからのまちづくりを考えるにということ、所管する都市整備課、古賀駅周辺開発推進室以外の全然違う分野の職員も、オンラインも含めて一緒にその場に参加をしてもらって、今後古賀駅東口ってどういうふう考えていこうかっていうことを、意見を出し合う場もつくったりしております。

**市長 まちづくり全体を考える場を作っている**

ですから、個別具体にはどうしても今ここ、このことしか考えられないという職場はあるだろうことは想像はしますけれども、全体として申し上げますと、自らの所掌事務以外の古賀市全体のまちづくりを考えるという営みについては、意識的につくってきいておりますし、それができる職員は多くいると認識をしています。

○奴間健司 私がドラえもんなら、職員の皆さんの胸に心の声スピーカーをつけてあげたいぐらいです。この辺であんまり事業を追い求めたり、外向け発信を少しやめてですね、職員との対話集会、本音トークをやったらどうかと思います。

○田辺一城市長 ちょっと今日は時間も限られていますので、議員からその職員との対話集会がどういうイメージかというのは、議論がこれ以上できないとは思いますが、私なりに捉えますと、先ほど申し上げた古賀駅東口のも、今、直接関わっている以外の職員もやっぱりまちづくり全体に関することだから、特に若い人を中心にそういう場をつくろうよという提案を実は私から庁内でして、新たにつくってみたいということをやっています。

ですから、基本的に職員の様々な広範な声を何とか市政運営につなげていきたいという思いはもともと持って、この間就任後やっているつもりではあ

ります。ですから、新型コロナ禍においても、全然関係ない部署の職員があるものを提案してきて、自分に関係ないんだけど、その提案が実は生きてきたという事例もあると。今日はつまびらかには申し上げませんが、あります。ですから、そうした風土をつくっていききたいというのはもともと持ってやってきておりますので、今まだできてない部分があるんじゃないかというところはしっかり受け止めながら、そういう基本姿勢は引き続き大事にしてやっていききたいと思います。

○奴間健司 しっかり足元を見るべきだということをお願いいたします。

**未来の声聞こえていますか？**

**市民の声聞こえていますか？**

**職員の声聞こえていますか？**

| 2021年3月議会・一般質問・1日目（3月19日・金） |        |                                                               |
|-----------------------------|--------|---------------------------------------------------------------|
| 午前9時30分から2人、午後1時30分から3人     |        |                                                               |
| 順番                          | 議員名    | テーマ                                                           |
| ①                           | 内場 恭子  | 1.新型コロナウイルス感染対応の強化を<br>2.ジェンダー平等の実現を<br>3.西鉄宮地岳線跡地道路化へ市民の思いは  |
| ②                           | 田中 英輔  | 1.コロナ感染症の経験を活かした備えを<br>2.10年後を目標に地球温暖化対策を                     |
| ③                           | 古賀 誠規  | 1.プラスチックごみの削減対策は                                              |
| ④                           | 伊東 洋子  | 1.ヤングケアラー問題の周知啓発と早急な支援を<br>2.地域学校協働活動でめざすものは                  |
| ⑤                           | 吉住 長敏  | 1.多様な移住の受け皿<br>2.コロナ禍の施設使用料<br>3.身近な業務改善                      |
| 2021年3月議会・一般質問・2日目（3月22日・月） |        |                                                               |
| 午前9時30分から2人、午後1時30分から3人     |        |                                                               |
| 順番                          | 議員名    | テーマ                                                           |
| ⑥                           | 奴間 健司  | 1.未来の声聞こえていますか ~地球と市民を守る10年に~<br>2.市民の声聞こえていますか ~市民参画のルール確立を~ |
| ⑦                           | 竹下 司津男 | 1.新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種の安全性について                               |
| ⑧                           | 平木 尚子  | 1.コロナ禍での暮らしをどう守るのか<br>2.夜間中学の設置促進の取組について                      |
| ⑨                           | 福崎 トビオ | 1.西口エリアの活性化に向けた事業について<br>2.西鉄宮地岳線跡地の活用について                    |
| ⑩                           | 村松 謙二  | 1.ふるさと納税で財源確保と暮らしを豊かに<br>2.デジタル化の推進で市民と行政の課題解決を図る方策は          |



| 一般会計補正予算（第9号）の主な内容（2021年3月9日の特別委員会で質疑、可決）<br>1億4705万1千円の増額補正、補正後の予算規模は298億6416万7千円 |                                            |                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| テーマ                                                                                | 補正額                                        | 説明                                                                         |
| 薬王寺温泉施設インキュベーション                                                                   | 5000万円の繰越                                  | 契約の遅れ（12月17日）、地方創生テレワーク交付金検討による設計着手の遅れで年度内工事完了が見込めない。事業の進め方や全体見直しには疑問点が多い。 |
| 路線バス運行補助                                                                           | 945万7千円の増額                                 | 利用者約7万7千人減による赤字補てん額の増合計5074万7千円になる                                         |
| 抗原検査キット購入                                                                          | 619万2千円の増額                                 | 保育所、小中学校、高齢者施設等で陽性者が発生した場合に、行政検査に該当しない職員等を対象とする。施設からの申請に基づき市から配布。          |
| 風しん抗体検査                                                                            | 730万円の減額                                   | 見込み1550件、実績571件。国が示す割合（対象者の51%）に達しなかった。                                    |
| PCR検査負担金                                                                           | 63万4千円の増額                                  | 2020年5月から2021年2月までに890人、古賀市は119人の実績。1回の人員は4人、医師の報酬は3万円。                    |
| コロナ対応地方創生臨時交付金                                                                     | 4億9479万6千円の増額<br>財政調整基金は<br>5億5375万3千円の減額。 | 第1次、2次の合計は6億8806万4千円。コロナ関連補正予算の合計は73億6092万5千円、支出額は68億3820万2921円。           |

**3月補正予算の概要**  
**1億4705万1千円の増額補正**  
**抗原検査キット購入など**

**2021年度一般会計当初予算の概要**  
**225億2300万円 過去最大規模**  
**コロナワクチン、北中大規模改造が要因**

| 2021年度古賀市一般会計当初予算案の概要<br>(3月3日の本会議、11日からの予算特別委員会で質疑を予定) |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目                                                      | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 予算規模                                                    | 225億2300万円<br>前年度比4.2%増、9億1480万2千円増の過去最大規模                                                                                                                                                                                                                         |
| 歳入                                                      | ①市税66億5700万円（5.9%減、4億1371万2千円の減）<br>（減収の内訳：市民税個人1.41億円、市民税法人0.43億円、固定資産税2.39億円減）<br>②地方交付税30億8700万円（0.3%減）<br>③ふるさと応援寄付金8億5000万円（5000万円減）<br>④市債（借金）15億7100万円（38.8%増）（学校施設整備事業債で約3億円増）<br>⑤基金繰入（貯金取り崩し）13億3600万円（14.9%増）<br>（基金繰入の内訳：財政調整基金5億円、ふるさと応援寄付基金7億4000万円） |
| 歳出                                                      | ①新型コロナワクチン接種経費3.7億円の増      ②古賀北中大規模改造工事3.9億円の増<br>③私立保育園整備補助1.77億円の増              ④汚泥再生処理センター整備0.76億円の増<br>⑤インキュベーション促進事業0.46億円の増      ⑥庁舎改良事業0.69億円の減<br>⑦浜大塚線整備事業1.48億円の減                                                                                        |
| 特徴                                                      | ①市税減収が4億を越す見込み。これに対し、 <b>コロナ減収補填特別交付金2.92億円、減収補填債1.04億円の計3.96億円で補填</b><br>②過去最大規模となった理由は、 <b>コロナワクチン経費3.7億円の増、北中大規模改造工事3.9億円の増が主な要因</b> （コロナワクチン関連で約5億4000万円。財源は国が負担）<br>③ <b>薬王寺温泉施設インキュベーション関連で8384万円も計上されている点は気になる。</b>                                         |

- 当初予算大綱質疑の結果概要**  
**（3月3日の本会議）**
- ①過去最大規模となった一般会計当初予算案も相変わらず三役査定で決定され、庁議で審議されていない。
  - ②財政評価は厳しくなりつつあるとのことだが、**大きな事業に着手する余力はある**という認識は変わっていない。「大きな事業」とは何か、将来の税収効果や環境負荷予測はまだよくわからない。
  - ③ワクチン接種準備体制は2月まで2人、3月から1人増、4月からさらに1名増とのこと。
  - ④ゼロカーボンシティ宣言は何をすることが大事でそれを検討の上考えたいとのこと。
  - ⑤がん検診ではあらたに集団検診において**40歳の健診費用を無料**とするとのこと。
  - ⑥薬王寺インキュベーション促進事業に関する収支見込は**変動要素はあるが提出する**とのこと。
  - ⑦子ども健診は検討するとのことだが現在実施している30歳から74歳に加え高齢者の保健事業と介護予防の一体実施をまず注力するとのこと。

| 古賀市・田辺市長の施政方針の構成 |                                                   |     |
|------------------|---------------------------------------------------|-----|
| 構成               | 主な内容                                              | 時間  |
| ①                | はじめに<br>「あるもの起点」、シュンペーター引用、コロナとデジタル化、財政状況、主な政策・施策 | 36分 |
| ②                | 予算編成<br>国の動向、当初予算の概要                              | 4分  |
| ③                | 主な事業<br>産業力、子ども、健康・安心、生活基盤（57事業を羅列）               | 17分 |
| ④                | おわりに<br>池江璃花子さんの言葉                                | 3分  |
| 市長の読み上げ時間合計      |                                                   | 60分 |

| 大野城市・井本市長の施政方針の構成 |                                             |        |
|-------------------|---------------------------------------------|--------|
| 構成                | 主な内容                                        | 時間     |
| ①                 | はじめに<br>時代認識、4つのプロジェクト、ゼロカーボンシティ宣言、連続立休交差事業 | 10分22秒 |
| ②                 | 4期目を振り返って<br>マニフェスト7項目の総括                   | 10分30秒 |
| ③                 | 市民の生命とくらし、ポストコロナ時代の成長、財政評価<br>市政運営の機軸       | 23分    |
| ④                 | 結び・未来への希望につなぐ<br>山本太郎教授の言葉、市民力と職員力          | 5分38秒  |
| 市長の読み上げ時間合計       |                                             | 49分30秒 |
| ⑤                 | 当初予算説明<br>副市長                               | 11分    |
| ⑥                 | 企業会計説明<br>上下水道局長                            | 4分     |
| 市長、副市長、上下水道局長の計   |                                             | 64分30秒 |

| 古賀市と大野城市の比較で気が付くこと |                                                                                          |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①                  | 古賀市は市長が60分、大野城市は市長、副市長等で64分30秒                                                           |
| ②                  | 古賀市は施政方針を単独で説明し、予算案の説明を省略している。大野城市は予算案の説明の冒頭に説明し、予算編成については副市長と上下水道局長が説明。古賀市の手法は再検討が必要では。 |
| ③                  | 古賀市の「はじめに」が大野城市の3.5倍だが、時代認識、市政運営の重要機軸やゼロカーボンシティ宣言のような特徴が少ない。                             |
| ④                  | 古賀市が長く感じる大きな理由は、「はじめに」の中で説明する主な政策・施策が、後半の「主な事業」の説明と重複していること。                             |
| ⑤                  | 古賀市にも大野城市のような市長のマニフェストの検証が欲しい。                                                           |

「施政方針は長い」？  
長いだけではなく、重複が目立つ  
大野城市の施政方針と比較検討すると課題が浮き彫りになります

薬王寺改修費1億3千万円に拡大  
テレワーク交付金を活用見込む  
私は市長質疑も行いました  
精査した収支見込を契約前に公表  
することを求めました

| 古賀市・2021年度当初予算案・質疑結果（3） 2021年3月11日質疑                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名                                                                                                                                                                            | 質疑内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 執行部の答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | コメント                                                                                                                                                                                                   |
| <b>薬王寺・温泉施設<br/>インキュベーション促進事業</b><br>委託料 4719万8千円<br>管理運営費、誘致促進委託費など<br>賃借料 360万円<br>快生館家賃<br>工事請負費 3000万円<br>追加工事費<br>補助金 435万円<br>進出支援種など<br>合計約8500万円<br>5000万円と合わせ1億3500万円 | ①担当は経営戦略課のままか？<br>②収支見通しはどこで確認したか？<br>当初は5千万円で整備する計画ではなかったか？<br>収支見通しは二つあるのか？<br>③地方創生テレワーク交付金申請のための <b>実施計画</b> は提出したのか？<br>④この交付金を活用するには <b>KPI</b> の設定（2024年度までにサテライトオフィス等を利用する県外の企業3社以上など）や <b>評価項目</b> （他部署との協力、高い費用対効果など）を盛り込むことが条件となっているが、 <b>実施計画</b> には盛り込んだか？<br>⑤ <b>収支見通し</b> の根拠の説明を求めらる。 | ① <b>経営戦略課</b> が担当。<br>② <b>三役査定</b> での確認。<br>5千万円では温泉施設の半分程度の整備。本来は本館、新館を扱うべきと思っていたが手立てがなかった。昨年末にテレワーク交付金が創設され、想定していた計画に合致する内容であることから最大限活用することにした。短期間だったが計画を策定した。誘致対策も盛り込んだ。<br>③ <b>2月17日</b> に県を経て内閣府に提出した。<br>④ <b>KPI</b> は <b>想定</b> の範囲内であり条件を満たすものを提出した。評価項目は、 <b>事前に内閣府の担当者</b> とやり取りし、条件を満たすよう整理して提出した。<br>⑤収支見通しの根拠は今後行う公募型プロポーザルの提案に影響し、公正・公平な入札を阻害する恐れがあるので <b>回答は控えたい</b> 。 | ●昨年8月補正では温泉施設改修費は5000万円。今回新たに3000万円が追加された。誘致に係る経費も追加され合計1億3500万円に膨れ上がった。<br>● <b>収支見通し</b> が出されたが、3年後には12社が入居し、市の持ち出しはゼロになるというもの。甘くないか？<br>● <b>契約時の見直し</b> はプロポーザルで選定する委託業者が提案するとされている。市民や議会がチェック可能か？ |
| <b>①実施計画の資料要求</b><br><b>②田辺市長に対する質疑</b>                                                                                                                                        | ①地方創生テレワーク交付金を申請する <b>実施計画</b> の提出を求めました。→委員会に諮られ、委員会への提出を求めることになりました。<br>②収支見通しの評価など田辺市長の認識を問うため、 <b>市長質疑</b> を申し出ました。（予定では3月18日の予算審査特別委員会で行うことになる見込みです）                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                        |

| 薬王寺・温泉施設インキュベーション促進事業の収支見通し |                  |                 |                    |                 |                 |           |
|-----------------------------|------------------|-----------------|--------------------|-----------------|-----------------|-----------|
| (単位：円)                      | 2021年度<br>令和3年度  | 2022年度<br>令和4年度 | 2023年度<br>令和5年度    | 2024年度<br>令和6年度 | 2025年度<br>令和7年度 |           |
| 収入計                         | 4,009,500        | 18,601,800      | 25,534,800         | 25,534,800      | 25,534,800      |           |
| 内訳                          | サテライトオフィス収入      | 1,287,000       | 8,448,000          | 9,768,000       | 9,768,000       | 9,768,000 |
|                             | 2023年度以降は12社入居想定 |                 |                    |                 |                 |           |
|                             | シェアオフィス収入        | 891,000         | 2,508,000          | 4,092,000       | 4,092,000       | 4,092,000 |
|                             | コワーキングスペース収入     | 0               | 2,280,000          | 4,560,000       | 4,560,000       | 4,560,000 |
|                             | ドミトリー収入          | 990,000         | 3,220,800          | 4,593,600       | 4,593,600       | 4,593,600 |
|                             | テナント部分収入         | 321,750         | 561,000            | 739,200         | 739,200         | 739,200   |
| セレクトショップ収入                  | 519,750          | 1,584,000       | 1,782,000          | 1,782,000       | 1,782,000       |           |
| 委託料                         | 19,690,000       | 25,520,000      | 25,520,000         | 25,520,000      | 25,520,000      |           |
| 差し引き委託料<br>(市の実質負担)         | 15,680,500       | 6,918,200       | 0                  | 0               | 0               |           |
|                             |                  | 市の赤字補てん額        | 2023年度以降は市の持ち出しはゼロ |                 |                 |           |

薬王寺インキュベーション  
市が作成した収支見込が3月  
議会に提出されました  
2023年度に12社入居し  
市の負担ゼロという見直しは  
甘いのでは！

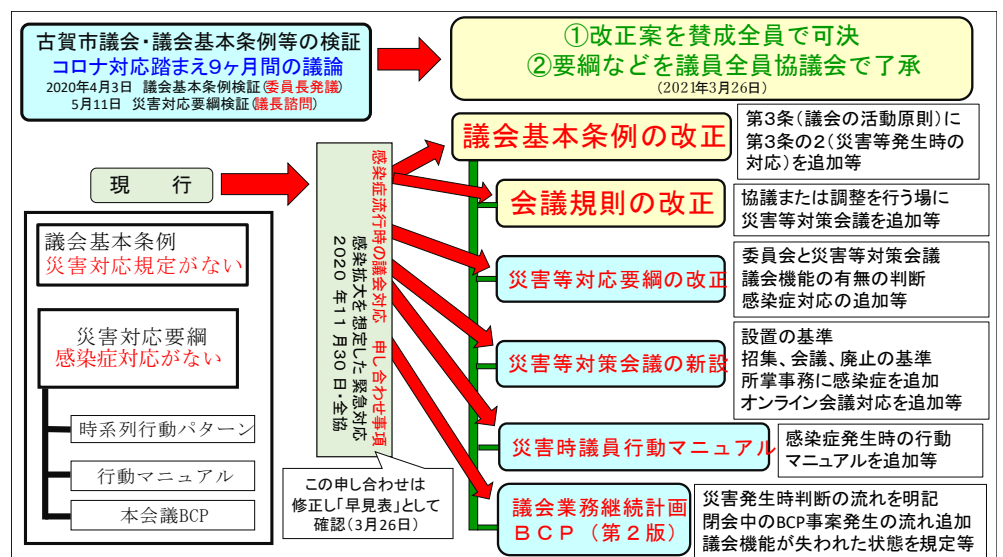
| ぬま健司の賛成討論 2021年度一般会計予算<br>2021年3月26日・原案は反対1、賛成17で可決 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 予算規模                                                | 225億2300万円（前年度比4.2%増、過去最大規模）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 最大の特徴                                               | ①新型コロナウイルス感染症ワクチン接種・4億4153万2千円<br>②古賀北中大規模改修・4億3520万円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 評価できる<br>予算                                         | ①3中学校区にコミュニティソーシャルワーカー配置<br>②おたふくかぜ任意予防接種費用の助成、特定不妊治療の費用助成、幼児教育・保育の無償化対象外の子どもに対する支援<br>③40歳の集団検診のがん検診自己負担無料化<br>④中学3年生タブレットは各小中学校に40台ずつ配備し、残りは児童センター等で活用（無駄な貸し出しをやめる）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 指摘事項                                                | ①第5次総合計画策定 基本構想案は執行部全体でしっかり議論すること、財政フレームやSDGsを盛り込むこと、基本構想審議会でワークショップを行うなど慎重審議を保障すること<br>②古賀駅東口周辺整備等の財政見通し 総事業費や財源、市の将来負担等の財政見通しを説明すること、環境負荷軽減策を示すこと<br>③公共交通 A1型オンデマンドバスの実証実験を2022年度の実施できるよう2021年度前半に計画を策定すること<br>④薬王寺インキュベーション 委託契約締結前に収支見通しを議会、市民に提示し意見を求めること、見通しが成り立たない場合の見直し・撤退の基準を定めること、関係者との協議をきちんと行うこと<br>⑤地球温暖化対策 ゼロカーボンシティ宣言を2021年度中に実行、エコふあみ応援アプリの活用と実態把握可能な制度改良<br>⑥地域コミュニティ対策 全公民館・集会所のWi-Fi環境の整備<br>⑦執行体制 保健福祉部の機構改革、経営戦略課の所管をはじめ執行体制に不安材料。職員の声をしっかり把握し、人材育成、モチベーションアップの対策。市長は足元をしっかりと見ること。<br>⑧2030年が分岐点 市民と地球を守る10年という視点をより鮮明にした市政運営を求める。<br>⑨市民参画 市民アンケート、ワークショップをきちんと位置付け、2021年度中に、具体的手続きをルール化すること。 |

一般会計当初予算に対する討論概要  
最大の特徴、評価できる予算を述べたうえで、市政運営上の指摘事項を明らかにしました。  
国保会計と介護保険会計の予算に対しても指摘事項を明らかにしました。



「報告と対話のつどい」を開催  
(4月23日)

災害・コロナ対応を追加  
議会基本条例、会議規則の改正  
賛成全員で可決（3月26日）  
災害対応要綱等の改正も了承



| 2021年度古賀市一般会計補正予算(第2号)3億4684万5千円増額補正の概要<br>臨時会・2021年4月20日 |                       |                                                                                                                                              |                                |
|-----------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 事業名                                                       | 補正額・担当課               | 事業概要                                                                                                                                         | 財源                             |
| 中小企業支援事業費<br>(市単独)                                        | 5000万円<br>(商工政策課)     | キャッシュレス決済を推進し、消費喚起、市内中小企業を支援。PayPay決済を行った利用者に最大20% PayPayボーナス付与。7月から8月まで予定。<br>(大型店、コンビニ等は対象外)                                               | 一般財源<br>(財政調整基金繰入)             |
| 生活困窮者自立支援事業費<br>(市独自)                                     | 795万5千円<br>(福祉課)      | 自立相談支援員を3人から4人、家計改善支援員を1人から2人に増員。新型コロナに関する国の貸付制度の借り入れ申し込み期間延長等による相談増加への対応。                                                                   | 民生費国庫負担金(3/4)<br>民生費国庫補助金(2/3) |
| 子育て世帯経済的支援事業費                                             | 1億868万9千円<br>(子育て支援課) | 児童扶養手当受給世帯や住民税非課税の子育て世帯に対し、児童一人当たり一律5万円支給<br>(2060人想定)                                                                                       | 民生費国庫補助金(全額)                   |
| 感染症対策事業費                                                  | 1億8千万1千円<br>(健康介護課)   | 集団接種会場の拡充(東医療センター、サンコスモ古賀)や接種会場までの送迎、コールセンター体制強化。集団接種開催を新たに45回追加。<br>医師・看護師等の報酬費、接種会場運営委託、タクシー初乗り運賃支援やシャトルバスによる送迎委託、コールセンター年度内延長による人材派遣委託など。 | 衛生費国庫補助金(全額)                   |

**臨時会(4月20日)**  
**補正予算の概要**  
**ワクチン関連1億8100万円**

| 古賀市議会・政策推進会議全体研修会 |                                                                               |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時              | 2021年4月20日(火) 14時~15時30分                                                      |
| 開催会場              | 古賀市議会・第1委員会室                                                                  |
| テーマ               | 「地球温暖化に対する市民の取組」<br>(気候変動・地球温暖化に関する6回目の研修会)                                   |
| 講演1               | 「10年にわたる中川の清掃活動の経験」<br>講師: 岩田一夫さん(千鳥校区コミュニティ・地域づくり部会長)                        |
| 講演2               | 「ささげグリーンカーテンの普及拡大の経験」<br>講師: 野中康憲さん(レインボーKOGA)                                |
| 講演3               | 「市民向け出前講座の紹介~地球温暖化の現状と近年の災害~」<br>講師: 吉見一郎さん(福岡県地球温暖化防止活動推進員、環境カウンセラー、うちエコ診断士) |

**政策推進会議全体研修会**  
**市民3人を講師に研修会(4月20日)**

|    | 基本構想審議会  | パブリックコメント                  | ポスターセッション                | 小学校区別説明会 | 議会                                           |
|----|----------|----------------------------|--------------------------|----------|----------------------------------------------|
| 3月 | 第2回(25日) |                            |                          |          |                                              |
| 4月 | 上旬       | 基本構想骨子のみ説明                 |                          |          |                                              |
|    | 中旬       | 諮問案は未完成分野別に駆け込み提示          |                          |          | 経営戦略課が示した第5次総合計画策定スケジュール(4月27日・総務委員会)        |
|    | 下旬       |                            |                          |          |                                              |
| 5月 | 上旬       | 基本構想(案)を提示                 |                          |          |                                              |
|    | 中旬       | 第3回(21日)                   |                          |          | 市の都合による審議会の日程短期詰め                            |
| 6月 | 上旬       | 第4回(3日)                    |                          |          |                                              |
|    | 中旬       | 第5回(11日)                   |                          |          |                                              |
|    | 下旬       | 第6回(24日)                   | 4回で基本構想案を審議スケジュール消化ではないか |          | 9月議会最終日提案とても認められない議会提案方針                     |
| 7月 | 上旬       | 第7回(8日)                    |                          |          |                                              |
|    | 中旬       | 答申                         |                          |          |                                              |
| 8月 | 上旬       | 答申時期都合優先の審議会軽視の答申時期設定ではないか |                          |          |                                              |
|    | 中旬       |                            |                          |          |                                              |
|    | 下旬       |                            |                          |          | 「最終日提案予定」                                    |
| 9月 | 上旬       | 第8回(3日)                    |                          |          |                                              |
|    | 中旬       |                            |                          |          | 審議回数を増やして慎重な審議をこれから10年は重要な期間策定期間を延長してよりよい計画を |

**第5次総合計画基本構想**  
**拙速な策定では未来は描けない**  
**6月議会の一般質問で取り上げます**

| ぬま健司・6月定例議会・一般質問通告<br>6月23日(水)15時くらいからの予定 |                                                        |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 第5次総合計画 延期も選択肢「急がば回れ」で確かな未来へ              |                                                        |
| ①                                         | 第5次総合計画の策定状況をどう認識しているか。市長、市議員の意気は高まっているか。              |
| ②                                         | 総合計画が形骸化せず未来を創造するために役立つ計画となるために何が必要と考えるか               |
| ③                                         | 都市イメージやまちづくりの方向性は定まったか。今後10年間の力点は明確か。                  |
| ④                                         | 地域支えあいセンター、子どもからの健康づくり、若者会議、SDGs、地球温暖化対策の着手・実現を求めているか。 |
| ⑤                                         | 基本構想審議会は条例に基づき運営されているか。審議状況をどう受け止めているか。                |
| ⑥                                         | 新たな市民アンケート並びに市民ワークショップの実施は今からでも必要と思うがどうか。              |
| ⑦                                         | 総合計画策定に向けて全職員の見解を反映させる時間を確保すべきと思うがどうか。                 |

「ぬま健司の提言詳報(第19号)」(発行日 2021年6月18日、発行者 奴間健司)  
●事務所 福岡県古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103 092-944-2639 携帯 090-3664-1674  
●資料代等振込先 ゆうちょ銀行 店番748 普通預金 口座番号 9429413  
名義 ぬま健司後援会